

<平成 25 年度>

## 行政改革部の運営方針

行政改革課  
中核市準備課

### ■基本情報■

<担当事務>

- (1) 行政改革の推進に関すること。
- (2) 行政組織に関すること。
- (3) 事務事業の見直しの総括に関すること。
- (4) 中核市移行に係る総合調整に関すること。
- (5) 地方分権の推進に関すること。

<部の職員数>H25年4月1日現在

正職員	13名
再任用職員	-名
任期付職員	-名
非常勤職員	-名
合計	13名

### ■基本方針■

本市では、枚方市の『魅力』向上をめざした、新たな行政改革を進めるため、平成 24 年度に「枚方市新行政改革大綱」を策定し、併せて具体的な課題とその目標を示した「行政改革実施プラン」を定めたとこです。

また、「健康医療都市」・「教育文化都市」という都市ブランドを活かした、魅力あるまちづくりを進めるため、平成 26 年度の中核市移行に向けて取り組んでいるところです。

1. 平成 25 年度は、新行政改革大綱及び行政改革実施プランをスタートさせる年であり、「改革・改善サイクル」の構築をはじめとする行政改革の各取り組みを着実に推進します。
2. 平成 26 年度の中核市移行を円滑に進めるとともに、これを踏まえた機構改革案を取りまとめます。

上記を最重点の取り組みとして、効率的・効果的な事務執行に努めます。

### I 重点施策・事業

◆「選択と集中」を実現する「新たな行政経営システム」づくりをめざす

新たな行政経営システムの一環として、各

部が作成する「部の運営方針」を取りまとめ、市民・市議会への情報発信を行います。

この試行実施の結果を踏まえ、今後の新たな行政経営システムの構築に向けた取り組みを進めます。

◆機能的・横断的に行動できる、行政経営組織を構築する

中核市移行を踏まえ、「選択と集中」を進めるための総合調整機能の充実を含めた、平成 26 年度の機構改革案を取りまとめます。

◆事務事業の見直し・改善を進める仕組みづくりに取り組む

平成 24 年度に引き続き、「事務事業総点検」を実施するとともに、その成果と課題を踏まえ、新たな「改革・改善サイクル」を構築し、平成 26 年度から運用できるよう取り組みます。



平成 24 年度 事務事業総点検評価員会議の様相

◆技能労務職員等の配置基準の見直しを行う

所管各部と連携し、技能労務職員の配置基準の見直しに取り組みます。

◆新たな業務改善活動に係る仕組みづくりに取り組む

ISO9001 に代わる本市独自の品質マネジメントシステムと、再構築する職員提案制度を、平成 26 年度から運用できるよう、業務改善活動の仕組みづくりを進めます。

◆中核市への移行を推進する

中核市への円滑な移行を図るため、府と市との間の総合調整を行うとともに、条例制定手続きなどが円滑に行われるよう取り組みます。

II 行政改革・業務改善

＜行政改革実施プラン（前期）の改革課題＞

改革課題	取り組み内容・目標
5. 新たな情報提供サービスの開始	コールセンターの導入に向けた具体案を策定する。
17. 部における「選択と集中」のシステムづくり	新たな行政経営システム構築の一環として作成する「部の運営方針」を取りまとめ、公表する。
18. 機能的で柔軟な組織づくり	平成26年度の中核市移行を踏まえた機構改革案を取りまとめる。
21. 「改革・改善サイクル」の構築	事務事業総点検の結果を踏まえ、新たな「改革・改善サイクル」を平成26年度から運用できるよう、システムを構築する。
22. 補助金の適正化	補助金の定期的な見直しに関わる基準を作成する。
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	外郭団体等の「経営プラン」の策定に向けて、各所管部と連携して取り組む。
30. 都市間連携の充実	中核市移行後の共通の行政課題の解決に向け、府内の中核市などとの意見交換等を進める。

33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	セーフティネットの確保や業務の効率化等の観点から、技能労務業務の職員配置基準を見直す。
35. 新たな業務改善活動の推進	業務改善の促進を図るため、ISO9001に代わる本市独自の品質マネジメントシステム及び新たな職員提案制度が平成26年度から運用できるよう、仕組みを構築する。
36. 民間活力活用業務の評価・検証の仕組みづくり	業務委託や指定管理者制度の導入を行った事業について、その効果・課題を評価・検証するための基本方針を策定する。
37. 指定管理者制度の導入拡大	伊加賀スポーツセンター、王仁公園・香里ヶ丘中央公園・中の池公園内のスポーツ施設への指定管理者制度導入に向けた所要の手続きを行う。
44. 施設の使用料の見直し	市有施設の維持等に係る負担の公平性・受益者負担の適正化の観点から、施設使用料の設定基準に係る考え方をまとめる。
44. 施設の使用料の見直し ①来庁者・利用者用駐車場	来庁者・利用者用駐車場の有料化に向け、関係部と連携して、基本的な考え方をまとめる。

＜事務事業総点検に係る対応＞

事務事業	取り組み内容・目標
ISO9001 運用推進事務	これまでの取り組みを簡素化した暫定運用を行いながら、平成 26 年度から本市独自の品質マネジメントシステムが稼働できるよう、新たな仕組みを構築する。
職員提案推進事務	これまでの成果と課題を踏まえ、業務改善と施策立案の両面から、制度の再構築を行う。

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
事務の効率化に向けた電子文書の適正な管理	多岐にわたる事務を同時並行かつ効率的に進めていくにあたり、データファイルの管理を適正に行うための共通ルールを作成し、ミス発生リスクの低減を図る。
朝礼・夕礼実施の徹底による各担当職員のスケジュールの共有化及び事務執行の効率化	所管事務の種別が多いことを踏まえ、週初めの朝礼時において、各担当者から1週間の予定を報告し、共有化を図る。 また、日々の朝礼・夕礼時に事務の進捗を共有することにより、事務執行の効率化や時間外勤務の縮減を図る。

### III 予算編成・執行

費用対効果の観点から、必要最小限の経費としました。主な変更点などは、以下のとおりです。

- ◆平成 24 年度事務事業総点検の結果等を踏まえ、ISO9001 運用推進事務を廃止し認証取得に係る更新審査手数料 84 万円を削減。
- ◆中核市への移行に係る広報PR活動経費として 140 万 5000 円（別に債務負担行為「移行記念式典開催経費」として 59 万円）を計上。
- ◆中核市への移行等に伴う必要経費の支援として、大阪府から市町村振興補助金の交付を受ける（平成 24 年度補助額は 5230 万円。平成 25 年度補助額は現時点で未定）。

### IV 組織運営・人材育成

- ◆平成 25 年度において、新たに取り組むこととなる事務が多いことも勘案し、担当職員が

調査・検討した企画案について、部内の職員を対象としたプレゼンテーション形式により発表することで、より幅広く意見交換するとともに、知識・認識等の共有化につなげます。また、これを通じて、自ら学び育つことのできる自律型職員の育成を図ります。

- ◆事務の共同処理等の都市間連携強化を含め、新たな取り組みとなる事務やその課題についての調査・研究を進めるため、先駆的に取り組んでいる都市への視察や研修を行います。
- ◆特定の事務・時期に時間外勤務が集中する際などにおいて、課内や部内の事務応援を効果的に実施することにより、効率的な事務執行と時間外勤務の縮減を図ります。

### V 広報・情報発信

#### ◆行政改革に関する情報発信

ホームページ等への掲載の際には、施策評価における意見も参考にしながら、取り組み内容だけでなくレイアウトなどの工夫を行うとともに、「行革かわら版」等の発行により、できるだけわかりやすい情報発信に努めます。

#### ◆中核市への移行に関する情報発信

中核市移行の意義やメリットなどを広く市民にお知らせするため、広報紙やホームページを通じた情報提供をはじめ、以下のようなPR事業を実施します。



- ・ 広報ひらかた特集号、「中核市ひらかた移行ニュース」発行
- ・ 窓口へのミニのぼり旗の設置、ポスター掲示
- ・ 公用車へのマグネット広告掲示
- ・ 職員による出前講座実施

など

各部署の窓口等に設置する「ミニのぼり旗」